

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学部
評価基準 2	教育研究組織
点検・評価項目(1)	2-1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
評価の視点	教育研究組織の編制原理
	理念・目的との適合性
	学術の進展や社会の要請との適合性
点検・評価項目(2)	2-2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・健康科学部の教育組織は、スポーツ科学科と健康科学科の2学科構成となっている。いずれも大学の理念を踏まえ、2005年に設置され現在に至っている。</li> <li>・学部設置から10年目を迎え、「少子・高齢化」が叫ばれる今日、次代の要請を見据えた発展期へと学部の変革を再確認する時期に来ている。</li> </ul>
2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・健康科学部の教育研究組織の適切性は、毎年度、教育研究活動等について大学全体で実施している自己点検・評価の絡みの中で検証している。</li> <li>・責任主体・組織、権限、手続きに関しては明確になっていない。</li> </ul>

【効果が上がっている事項】

2-1	
2-2	

【改善すべき事項】

2-1	・学部・学科の編成の適切性を検証する。
2-2	

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

2011年度改善方策実施計画書・経過報告書
-----------------------

【2014年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～2018)	2-1 ・学生定員、教員定数の見直しと共に、全学的な新たな方針に基づいて学部学科の再編を行う。	・学部学科の再編が全学的な方針に従って進められ、新たな体制に移行する。	→					
14年度目標	2-1 ・学部学科の再編成について、具体的な検討に着手する。	・再編成の具体的な検討に着手することが全学的に了承され、検討作業に着手する。	→	C				